

「類鼻疽」って知ってますか？

「類鼻疽」とは？

人や動物で**重篤な症状**を引き起こす細菌性疾患です。

海外の風土病※で常在地域に渡航する際は注意が必要です。

日本には類鼻疽菌は常在しません。

※日本ではこれまでに輸入感染症例が報告されています。

傷口や呼吸器を介してヒトの体内に侵入し感染します。

2021年には米国CDCから、海外渡航歴のない方について、

・輸入淡水魚を飼育している**水槽から感染した事例**

・輸入**アロマスプレーの使用**による感染事例

が報告されており、海外渡航をしていない方も注意が必要です。



類鼻疽菌は致死率の高い病原菌で、病原体の取り扱いは厳重に管理されています。



※東南アジアと北部オーストラリアで特に多く患者が発生しており、水田などの湿った土壌や水中で生息しています。

水槽を取り扱う際の感染防止のポイント

観賞魚、は虫類を取り扱う際には、動物が病原菌に汚染されている可能性があります。水槽を取り扱う際には、念のため、下記のポイントに注意しましょう。

1. 水槽を取り扱う際は手袋等を着用しましょう。



2. 作業後はよく手を石けんで洗いましょう。



3. 体調に異状を感じたら医療機関に相談しましょう。



水槽の取り扱いに当たっては、類鼻疽菌以外にも、これまでに「サルモネラ菌（注1）」や「非結核抗酸菌症（注2）」等の感染事例も報告されております。

注1：[ミドリガメ等のハ虫類の取扱いQ&A（厚生労働省HP）](#)

注2：[非結核抗酸菌症（国立感染症研究所HP）](#)